

### 令和5年度 学校生活アンケートの一部結果について

市内小中学校では、令和5年度の学校生活を振り返り、児童生徒にアンケートを実施しました。その中で、アンケート項目にある「学校は楽しい」・「授業を楽しく受けている」という主旨の内容について、「そう思う」・「とてもそう思う」と回答した児童生徒の割合は、以下のとおりとなりました。

	小学校平均	中学校平均	全体平均
「学校は楽しい」	87%	88%	88%
「授業を楽しく受けている」	86%	86%	86%

今年度のアンケートでは、2項目共に、8割以上の児童生徒が肯定的な回答となりました。今後も引き続き、学校運営の改善点や課題を明確にし、安心して過ごせる学校づくりを目指してまいります。

### 本をたくさん読もう！

市内小中学校では、各校で工夫して読書活動を推進する取り組みを行い、児童生徒の読書量を年々伸ばしています。

また、市内全体で読書推進に取り組む活動として、「流山市R1読書グランプリ」が令和元年度より毎年開催されています。「R1」の「R」は「読書」という意味のReadingの頭文字から命名されました。このR1読書グランプリでは、各校一人当たりの貸出冊数による学校表彰の部、書評POP作品制作による個人表彰の部を行っています。

今年度の「個人表彰の部」では、「あなたのおすすめの本」というテーマで児童生徒が作成した書評POP作品がたくさん寄せられました。優秀作品については、流山市立図書館や流山市役所に展示され、たくさんの方にご来場いただきました。



「学校表彰の部」では、流山市役所で表彰式を行い、上位校の読書推進活動の取組を称えました。



是非、流山市立図書館や学校図書館に足を運んでください。きっと大好きな本に巡りあえるはずです。

### 大谷翔平選手からの「野球しようぜ！」

1月上旬、米大リーグの大谷翔平選手が寄贈されたジュニア用グローブが、市内の各小学校へ届けられました。

おおぐろの森小学校では、子どもたちが目を輝かせながらグローブを手にしていました。業間休みや昼休みに、体育館のキャッチボールエリアでキャッチボールをするために、並んで順番待ちをするほどの大人気です。

大谷選手から添えられたメッセージのように、きっと子どもたちからも「野球しようぜ！」という声がたくさん挙がっていることでしょう。



### 令和6年度 新設・移転開校の3校について

#### 【南流山中学校】

東洋学園大学旧校舎を改修して、令和6年4月から移転する南流山中学校は体育館、グラウンドが2か所ずつあるなど、市内で1番大きな中学校になります。大学施設の特徴である階段状の講堂を残すなど、既存施設を活かしつつ、コミュニケーションスペースや少人数教室など、新たな学習・生活空間を設けています。この広い空間で、新たな「南流中」が始動します。



写真：南流山中学校コミュニケーションスペース

#### 【市野谷小学校】

市内18校目の小学校となる市野谷小学校。「コンパクトなつくり 多目的な活用」をコンセプトに、建物自体はコンパクトに作ることで、敷地を有効に使いながら、内部の空間を大きく使えるように4階建てとなっています。普通教室は、多目的スペースを窓側に設け、88平方メートルに拡大することで、多様な学習に対応可能な空間となっています。



写真：市野谷小学校普通教室

#### 【南流山第二小学校】

市内19校目の小学校となる南流山第二小学校。南流山中学校の校舎を、新設小学校として開校します。教室は、床の研磨、ランドセルが入るロッカーの新設、建具の交換といった改修を行いました。特別教室は、床や壁の改修だけでなく、小学生が使いやすい大きさの作業台や椅子が新設されています。南流山小学校からの分離となり、きょうだい校として南流山に新しい歴史が刻まれます。



写真：南流山第二小学校家庭科室

# 教育ながれやま

第89号  
編集発行 流山市教育委員会  
TEL 04 (7158) 1111

## 思いを受け止め、つなぐ心を大切に



流山市教育委員会教育長 田中 弘美

令和6年1月1日夕方、石川県能登地方で発生した最大震度7の大地震は、家屋の倒壊、土砂災害、津波などを引き起こし、多くの方の命や日常生活を奪いました。お亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された全ての方々に御見舞い申し上げます。

今なお、多くの方々が避難生活を余儀なくされています。また、子どもたちにとっても、不安と恐怖が入り混じる日々を送っていることでしょう。少しずつ学校生活も再開されてきたようですが、安心して、日常生活が送れるまでには、まだまだ、時間はかかります。

本市の各小中学校においては、3学期の始業式後から、駅前による募金活動をはじめ、実に様々な形での支援活動が行われました。平成24年から石川県能登町と姉妹都市交流を結んで以来、これまで夏休みを利用して能登町と本市の小学生が、互いの土地を訪れ体験学習を行うなど交流を深めてまいりました。そういったつながりもあり、「お友だちがいる能登町が大変だ」、「私たちにできることはないだろうか」……。このような子どもたちの思いが、募金活動の輪となって、大きく広がっていったと聞き及んでいます。心から嬉しく思います。そして、子どもたちが、それぞれの思いを行動に移したことを誇りに思います。

流山市の全ての子どもたちに感謝します。「ありがとうございます」

さて、相手のおかれている状況を考え（想像し）て、行動するという事は、時には勇気の要ることもあります。しかし、まずは、「思いを受け止めること」が、大切なことではないかと改めて感じました。それぞれの思いをつなげていくことで、多くの人との関わりが生まれます。そのためにも、物事を共感的に受け止めることを大切にしたい。一人ひとりの思いを共有し、少しずつ広がっていったとき、大きな力を生み出すことがあります。

そして、相手の思いを理解しようと「心」で話を聞く。まずは、きちんと「心」で受け止める。

「心」で受け止めていることが、相手に十分に伝われば、同じ判断であっても、そこから先の展開は大きく変わることもあります。

人は、自分の思いをわかってくれる人の話は、案外素直に聞けるものです。

また、思いを伝えるためには、人の力を信じることも大切です。生きるうえでも、学んでいくうえでも、相手を信じることは必要です。相手を信じることで、支え合いや助け合いも強固なものになるのではないのでしょうか。

他者との関係が希薄になっている現代社会において、他者と共に学ぶことで、自分の考えが確かめられ、広がり、深まりを持つことが出来ます。自分一人では気づけなかったことも、対話を通して、教わり、助けられることも少なくありません。

これからも、子どもの声、問いかけや思い、悩みや願いなどを、私たち大人が丁寧に受け止めていくことを忘れずに、子どもたちが安心して落ち着いた日々を送れるように努めていきたいと思ひます。

引き続き、保護者、地域の皆様には、子どもたちの小さな変化にも声をかけ、寄り添い、温かな眼差しでのご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の分析結果と本市の状況

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が報告されました。本調査は、全国の小学5年生と中学2年生の児童生徒を対象に毎年行われています。グラフは、本市の体力・運動能力テストの結果を全国、千葉県と比較したものです。

詳細としては、令和5年度の流山市の合計点の平均は、小学校は男子、女子ともに49.0、中学校は男子が49.6、女子が49.9という結果でした。種目別の結果は以下の表のとおりです。

	全国平均を上回っている種目	全国平均を下回っている種目
小学校男子	50m走	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げ
小学校女子	上体起こし、50m走	握力、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ソフトボール投げ
中学校男子	長座体前屈、持久走、50m走	握力、上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ハンドボール投げ
中学校女子	長座体前屈、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび	握力、上体起こし、反復横とび、ハンドボール投げ

小中学校男女ともに、短距離種目が全国平均を上回る結果となりました。以下のような、様々な場面での補強運動等の積み重ねが成果となって表れていると考えます。

- 体育の授業での短距離走
- 休み時間における縄跳びや鬼ごっこ など

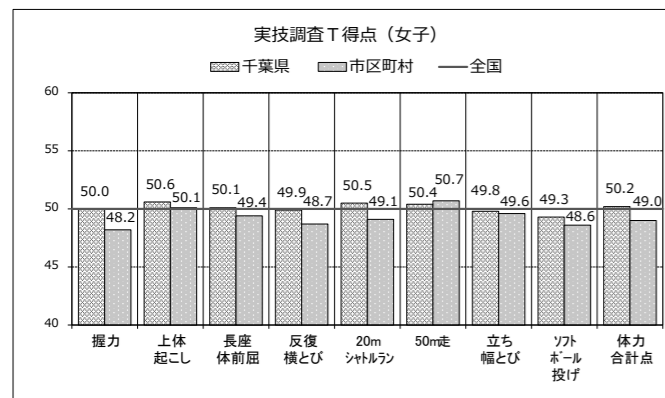
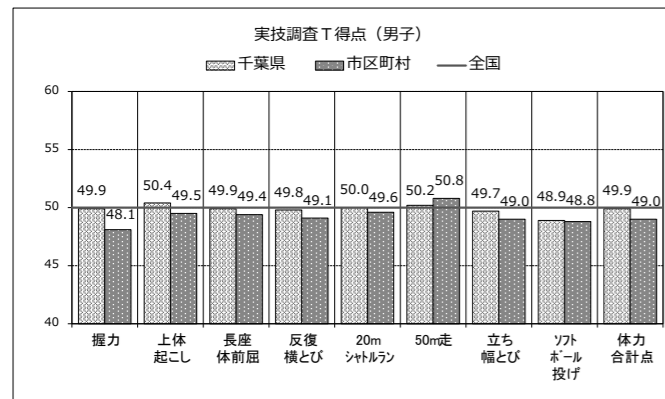
さらに、中学校では、持久力においても高い結果を示しています。体育の授業における長距離走や補強運動など、体力向上の取り組みの成果が表れています。一方で、全国的にも低い数値となっている握力とボール投げが流山市においても低下の傾向が続いています。

これらの結果から、今後、以下のような発達段階に応じた筋力や投力の向上を目指した遊びや補強運動等を日常的に取り入れながら、体育の授業の工夫を図ることが大切であると考えています。

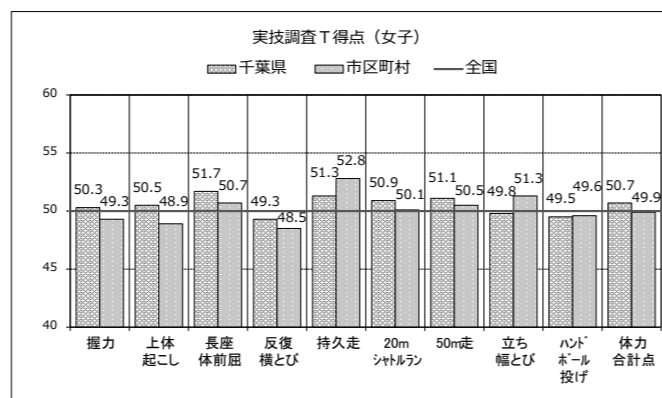
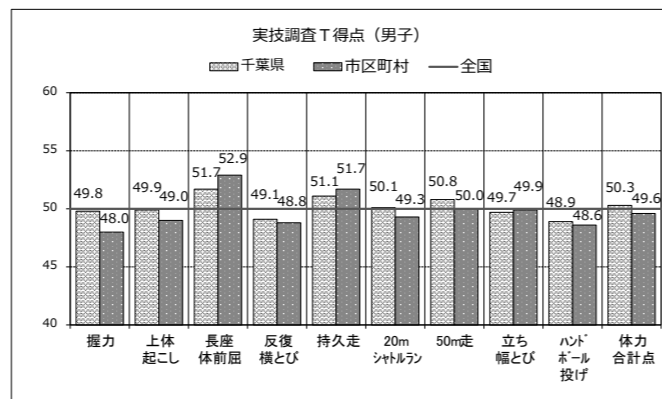
- 鉄棒や遊具に触れる機会
- 投げ方に特化したボール運動 など

流山市は学力・気力・体力のバランスのとれた教育を目指しています。体力面では、学校体育の充実・高度化を通して「運動の楽しさや喜び」を味わわせ、自ら体を動かす習慣を身に付け、生涯スポーツにつなげていくことを大切にしていきたいと考えています。また、家庭での運動に加えて、県が推奨する「遊・友スポーツランキングちば」等の活用により、業間休みや昼休み等、日常的に子どもたちが運動に親しむ習慣を付けていくことを通して、運動を通じた豊かな心身の育成を図っていきます。

## 【小学校】



## 【中学校】



# 『石川県能登町への支援活動～姉妹都市の繋がりとエール』

令和6年の元旦を襲った能登半島地震。被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。流山市は、石川県能登町と姉妹都市の盟約を結んでおり、毎年市内の小学生が能登町を訪れ、美しい自然に触れ合いながら、日常では味わえない体験をさせていただいています。

このたびの地震により甚大な被害に見舞われた能登町へ、少しでも何か支援することができないかと、市内の小中学校では、子どもたちが率先してさまざまな支援活動等を行いました。

西初石小学校・中学校では、小中合同で募金活動を行いました。呼びかけに対し、たくさんのご協力をいただき、地域の方々の温かさに触れました。南流山小学校では、2年生の児童が生活科で栽培した大根を保護者の方に販売し、売上金を募金として寄付する活動を行いました。東深井中学校では、生徒会が中心となり、募金活動を行ったり、能登町の方々への応援メッセージポスターを作成したりしました。このほかにも、各学校で取組を考え、流山の地から応援の気持ちが届くようにと活動を行いました。

今後も、能登町の方々との交流や、美しい自然に触れる機会が継続されることを願うと共に、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



# いじめ防止授業を市内全小中学校で実施

令和5年5月から12月にかけて、市内小中学校27校（全校）の小学校5年生、中学校1年生を対象に、いじめ防止授業を実施しました。

いじめ防止授業では、市内小中学校にスクールロイヤーが直接訪問し、「いじめは人権を侵害するものである」ことを前提に、法律上のいじめの定義や、相手の気持ちを考えて行動することが重要であること、いじめが相手の人権を侵害するものであること、学校はいじめに対応する責任があることなどを説明し、いじめを受けたときやいじめを見たときには一人で抱え込まずに相談することが大切であると伝えています。

授業を受けた児童生徒からは、「相手が苦痛を感じたらいじめになることが分かった。」「相手がどう感じるか、どう受け取るかを考えて行動したい。」「周りでいじめを見たら、仲間と協力して注意したい。」「いじめられている人がいたら、誰かに相談したい。」「色々な人の意見を聞いて、人それぞれ感じ方や考え方が違うことが分かった。」などの感想がありました。

一人ひとりが「いじめ」を自分自身のこととして受け止め、「いじめ」を防止するためにどうしたらよいか考える機会を持つことで、いじめの起きにくい学校づくりを目指しています。



# 市内小中学校作品展

令和5年11月11日（土）、12日（日）の2日間にわたり、流山市生涯学習センター（流山エルズ）にて、市内小中学校作品展が行われ、各校で取り組んだ図画美術作品・習字・作文の代表作品が展示されました。

会場を訪れた方々からは、「小1～中3までの作品を観ることができ、子どもの成長を感じられる空間でした。」「作品を作っている子どもたちのキラキラした顔を目に浮かべながら楽しく見ました。」「中学生の洞察力の深さに圧倒されました。」などの感想が寄せられました。

植物が紅葉を始め、美しい自然美を楽しむことができる「秋」の季節に、多くの方にご来場いただき、芸術を楽しむ一幕となりました。



# 第26回東葛飾地方家庭科、技術・家庭科作品展

令和6年1月13日（土）、14日（日）の2日間にわたり、流山市生涯学習センター（流山エルズ）にて、第26回東葛飾地方家庭科、技術・家庭科作品展が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響で、4年ぶりの作品展開催となりました。当日は、東葛飾6市(※)の小学校家庭科作品と中学校技術科、家庭科作品が展示され、合計約1,000名の方々が来場されました。小中学生のみならず、豊富な発想力と丁寧に仕上げられた作品の数々に、来場者からは、「いろいろな作品を見ることができて勉強になった。もっと作ってみたい。」「素晴らしい作品が多く、手作りのよさも出ていた。」などの感想が寄せられました。

手作りのよさ、ひらめきやアイデアを形にする面白さを感じられる作品展となりました。

※東葛飾6市  
流山市、松戸市、野田市、柏市、我孫子市、鎌ヶ谷市

